

はじめに：テクニカルディレクターより



私にとって GIF でテクニカルディレクターを務めることは、喜びであり大きな責任でもある。2019年、すべての GIF 組織を変革できた。この場を借りて、前チームに感謝と敬意を表す。

この新しいガバナンス構造では新たな課題に直面しており、新しく範囲を定義しなければならない。第4世代国際フォーラムが開始されてから、(2020年に)20年になる。GIF 組織にとっては、規制緩和されたエネルギー市場と未来の脱炭素化された社会という新たな背景において、その目的を検討するのに適切な時期である。

GIF は、第4世代原子炉システムとそれに関連する安全性、経済性、および核拡散抵抗・物質防護 (PR&PP) の事項に関係する人々にとって不可欠の組織になっている。新たな経済市場、将来のエネルギーミックス、および低炭素社会への移行の観点から、重要なシステムの地位を追求し、再評価しなければならない。6つの第4世代システムには、この新しいエネルギー枠組みの一部となる重要な資産がある。また、柔軟性と負荷追従、エネルギー併給 (熱、淡水化など) および/または大規模エネルギー貯蔵 (水素) の併用を確実にする能力、それらの導入の柔軟性 (大規模、小規模またはマイクロ規模の原子炉、小型モジュール炉)、それらの立地の適応性を通じて、エネルギーミックスにおける GIF システムの一貫性を強調することが重要である。

したがって、これらの原子炉システムへの関与を追求し、安全性と PR&PP、経済と市場、市場機会、産業界のビジョン、再生可能エネルギーとの適合性、および原子力システムに適用可能な将来の革新的な技術といった主要分野での横断的なワーキンググループの重要な役割を確認することが重要である。

同時に、GIF は、第4世代システムでの取り組みを促進し、高い評価を得るために、多くの人々に対して将来のエネルギーの課題に関する見解を示さなければならない。これは、シンポジウムとウェビナー戦略により開始されている。また、このダイナミズムを追求し、的を絞った効率的な GIF コミュニケーション計画に向けて方向性を示すよう努める予定である。

2019年は、2018年10月の第4回 GIF シンポジウムの大成功、GIF ガバナンスの大幅な変更、そして今後数年間の道を切り開きたいという新しい方向性に移行できた年であった。また、すべての GIF メンバーによるさまざまな技術的進歩にとって興味深い年でもあった。本年報は、これらの素晴らしい結果の適切な概要を示し、将来の課題に向けたいくつかの鍵を提供できるものであると確信している。前回の GIF 年報は2017年のものである。2018年は、GIF シンポジウムの開催とすべての GIF メンバーの大きな関与により、年報の作成が繰り越された。そのため、本年報では、過去2年間の活動報告がある程度統合されている。

GIF テクニカルディレクター
Gilles Rodriguez